

新技術概要説明資料（2 / 5）

新技術名称

A S フォーム工法

登録No.

1459

(特 徴)

(長 所)

耐酸性、遮塩性、耐摩耗性に優れ、コンクリート構造物を外的劣化要因の浸入・作用から保護するため、耐久性が飛躍的に向上します。

①土砂が流下する河川内への橋脚等、『耐摩耗性』が要求される箇所に使用できます。

②海岸周辺地域などでの塩化物イオンの浸入からコンクリート構造物を保護します。

③パネル表面が滑らかで粗度係数が0.010以下と小さいため、既設水路の内面に配置する補修においても、所定の流量を確保することができます。

④パネル自体が軽量なため（24kg/m²）人力施工が可能です。

⑤施工最低厚が20mm（パネル10mm＋充填材10mm）のため流積の減少が少なく済みます。

(短 所)

耐火性が要求される箇所には使用できません。

(施工方法)

「新設時」

①墨だし→②不陸調整→③A S フォーム建込み→④バックアップ材貼付け→⑤支保工→⑥コンクリート打設→⑦支保解体→⑧コーキング処理→⑨完成

「補修時」

①劣化コンクリートはつり→②アンカーボルト設置→③A S フォーム建込み→④バックアップ材貼付け→⑤グラウト注入→⑥コーキング処理→⑦完成

(施工単価等)

1(1). 歩掛りあり（標準） 1(2). 歩掛りあり（暫定） 2. 歩掛りなし

1(2)

掲載刊行物

建設物価（~~有~~・**無**） 掲載品目（ ）

積算資料（~~有~~・**無**） 掲載品目（ ）

その他
(カタログなど)

(カタログ)

既設水路を補修する場合の施工単価

材料費：15,000円/m² ～ 20,000円/m²施工費：15,000円/m² ～ 20,000円/m²

・「A S フォーム」に関わる組立・設置（グラウト工を含む）などの直接工事費
 ・洗浄、はつりなどの下地処理費、本施工に付帯する間接工事費および一般管理費は含みません。

積算資料等

「A S フォーム工法連絡協議会」設計積算資料

施工管理基準資料等

原則として静岡県施工管理基準に準拠いたします。

自社基準の場合は下記となります。

・材料：レジンコンクリート強度、外観、製品寸法（自社試験成績書、ASフォーム仕様書）
 ・施工：型枠の設計・施工指針案（日本建築学会）

新技術概要説明資料 (3 / 5)

| | | | |
|--|--|-----------------|-----------|
| 新技術名称 | ASフォーム工法 | 登録No. | 1459 |
| <p>(適用条件)</p> <p>(適用できる条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然条件：特に制限はありません。湿潤環境下においても施工可能です。 ・橋脚、水路(開水路、導水路)など土木構造物全般に適用可能です。 ・耐酸性、遮塩性、耐摩耗性および景観性が要求される箇所に特に有効です。 <p>(適用できない条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐火性が要求される箇所。 | | | |
| <p>(設計上の留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人力施工の場合、ASフォームのサイズは1㎡(10mm厚さ)程度とする。 | | | |
| <p>(施工上・使用上の留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンマーなどで激しい衝撃を加えてはならない。 ・ガス溶接機などの炎を直接接触させてはならない。 ・コンクリートの打設高さは、製品仕様、施工条件に応じて定めた高さとする。 | | | |
| <p>(残された課題と今後の開発計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補強を要求される箇所への適用。 | | | |
| <p>(実験等作業状況)</p> <p>土木系材料技術・公募型技術審査証明報告書</p> | | | |
| <p>(添付資料)</p> <p>実験資料等</p> <p>土木系材料技術・公募型技術審査証明報告書</p> | | | |
| <p>その他</p> <p>特になし。</p> | | | |
| 特許 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. 有り (番号:) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input type="checkbox"/> 4: 無し | 番号 | 1 |
| | | 特許番号 | 第4159568号 |
| 実用新案 | <input type="checkbox"/> 1. 有り (番号:) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4: 無し | 番号 | 4 |
| | | 新案番号 | |
| 評価・証明 | 建設技術評価制度番号 | 民間開発建設技術の審査証明番号 | |
| | 公技審証 第0505号 | | |
| | 証明年月日 | 証明年月日 | |
| | 平成6年3月31日 | | |
| | 制度等の名称 | 証明機関 | |
| | 土木系材料技術・公募型技術審査証明 | | |
| | 制度等の名称 | 制度等の名称 | |
| その他の制度等による証明 | 制度名、番号 | 制度名、番号 | |
| | 証明年月日 | 証明年月日 | |
| | 証明機関 | 証明機関 | |
| | 証明範囲 | 証明範囲 | |
| | | | |

新技術概要説明資料（4 / 5）

| 新技術名称 | | ASフォーム工法 | | 登録No. | 1459 |
|-----------------------------|----------|---------------------------------------|-----|-------------|------|
| 実績件数 | | 公共機関: | 113 | 民間: | 25 |
| 発注者 | 施工時期 | 工事名 | | CORINS登録No. | |
| 静岡県島田市 | 2009年10月 | 県単独農業農村整備事業 山井用水改修工事 | | | |
| 関東農政局 中信平二期農業水利事業所 | 2008年11月 | 梓川幹線下流部工事 | | | |
| 東海農政局 宮川用水第二期農業水利事業所 | 2009年1月 | 宮川用水第二期地区導水路工事 | | | |
| 国土交通省 近畿地方整備局 | 2009年2月 | 川原樋川導水路トンネル補修その2 工事 | | | |
| 沖縄総合事務局 | 2011年2月 | 平成22年度調整水路(その1)補修工事 | | | |
| 函館開発建設部 函館農業事務所 | 2011年10月 | 大野平野地区 大沼取水口補修工事 | | | |
| 北陸農政局 九頭竜川下流農業水利事業所 | 2011年12月 | 十郷1号用水路副管その4工事 | | | |
| 中国四国農政局 香川用水土器川沿岸農業水利事業所 | 2012年1月 | 香川用水土器川沿岸農業水利事業 金倉川左岸幹線水路改修(その2)工事 | | | |
| 福井県丹南農林土木事務所 | 2010年10月 | 平成22年度集落基盤整備事業武生 承水路地区第1号・2号工事 | | | |
| 九州旅客鉄道 | 2007年10月 | 九州新幹線 境目下部工工事 | | | |

施工実績

新技術概要説明資料 (5 / 5)

| 新技術名称 | ASフォーム工法 | 登録No. 1459 |
|--|--|------------|
|  <p>ASフォームの外観</p> |  <p>耐酸性試験</p> | |
|  <p>通水量・耐摩耗性向上(開水路)</p> |  <p>通水量・耐摩耗性向上(導水路トンネル)</p> | |
|  <p>通水量・耐摩耗性向上(導水路トンネル)</p> |  <p>耐久性向上(橋脚)</p> | |